

がん性疼痛治療に用いられるオピオイド鎮痛薬一覧（当院採用薬、内服・外用） ver6.0

最終確認は必ず添付文書をお願いします

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

成分	商品名	規格・写真	放出機構	用法	投与間隔	特徴・使用時の注意点など	薬価
モルヒネ硫酸塩	MSコンチン錠	院外 10 mg 	徐放性	1日2回	12時間	高級アルコールをコーティングしたモルヒネ粒子を圧縮した構造で、腸管内の水分により徐々に溶解される。徐放性の製剤であるため、噛まずに服用すること。	245.6円/錠
	モルヒネ硫酸塩水和物徐放細粒分包「フジモト」	院内は患者限定 10 mg (2%) (0.5 g) 30 mg (6%) (0.5 g) 	徐放性	1日2回	12時間	甘味をコーティングした徐放性細粒。粉碎不可。噛み砕いて服用しないように注意。<メーカー作成資料より>飲み物に混ぜて服用(混ぜてから10分以内に飲む)したり、アイスクリームなどにふりかけて服用することも可能。8Fr以上のチューブで経管投与可⇒[注意]懸濁に用いたシリンジ内に薬剤が20%以上残存することが報告されているため、水を用いて懸濁しない。牛乳やエンジュアリキッドなどに懸濁して投与するとチューブへの付着が少ない*。	10mg 200.1円/包 30mg 528.3円/包
モルヒネ塩酸塩	パシーフカプセル	30 mg 	速放性+徐放性	1日1回	24時間	速放性粒と徐放性粒がカプセルに充填されている。カプセルの内容物を砕かず、そのまま噛まずに服用する。	756.7円/CP
	モルヒネ塩酸塩錠「DSP」	10 mg 	速放性	回数に記載なし	4時間 レスキュー 1時間	「激しい疼痛時における鎮痛・鎮静」以外の適応を有する(激しい咳嗽発作における鎮咳、激しい下痢症状の改善および手術後の腸管蠕動運動の抑制)。素錠であり味は苦い。	128.1円/錠
	オプソ内服液	5 mg (2.5 mL/包) 	速放性	1日6回	4時間 レスキュー 1時間	レスキュードーズとして使用する場合は、定時投与中のモルヒネ経口製剤1日量の1/6量を目安とする。ソルビトールやアミノ酸の添加により、モルヒネの苦みをほぼ消失させた製剤。1回使い切り型アルミスティック分包品。	114.5円/包
	アンベック坐剤	10 mg 院外 20 mg 	-	1日2~4回	6~12時間 レスキュー 2時間	室温保存(1~30℃)。他の坐剤との併用時は注意：水溶基剤を用いた坐剤(インドメタシン等)との併用で吸収低下、油性基剤のNSAIDs坐剤(ジクロフェナク)との併用で吸収上昇。	10 mg 320.1円/個 20 mg 612.9円/個
ヒドロモルフォン塩酸塩	ナルサス錠	2 mg 12 mg 	徐放性	1日1回	24時間	1920年代より世界43の国と地域で使用されている(2017年現在)1日1回投与の徐放性製剤服用に際して割ったり砕いたり、噛み砕かないように注意。	2 mg 206.6円/錠 12mg 990.2円/錠
	ナルラビド錠	1 mg 4 mg 	速放性	1日4~6回	4~6時間 レスキュー 1時間	レスキュードーズとして使用する場合は、定時投与中のヒドロモルフォン(ナルサス錠)の経口製剤1日量の1/6~1/4量を目安とする。	1 mg 112.6円/錠 4 mg 378.8円/錠
オキシコドン塩酸塩	オキシコドン徐放錠NX「第一三共」	5 mg 20 mg 	徐放性	1日2回	12時間	オキシコドンTR錠の後発医薬品。原薬と水溶性高分子を組み合わせ、投薬後に消化管の広範囲で薬物を放出させることで薬効が持続する製剤(GWATab)。噛み砕かないように注意。乱用防止を目的に拮抗剤のナロキソン(内服では鎮痛作用に影響しない)が添加されている。 慢性疼痛に対する適応なし	5 mg 92.0円/錠 20 mg 318.5円/錠
	オキシコドンTR錠	院外 5 mg 院外 20 mg 	徐放性	1日2回	12時間	徐放製剤。不正使用防止を目的にポリエチレンオキサイドが使用された錠剤(TRF; Tamper-Resistant Formulation)で、ハンマーを使用しても壊れない構造になっている。癌性疼痛以外に、「中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛」にも適応を有する。慢性疼痛に処方するには、e-ラーニングの受講が必要。	5 mg 121.4円/錠 20 mg 433.7円/錠
	オキノーム散	2.5 mg(0.5%) (0.5g/包) 5 mg(0.5%) (1g/包) 10 mg(1%) (1g/包) 	速放性	1日4回	6時間 レスキュー 1時間	レスキュードーズとして使用する場合は、定時投与中のオキシコドン錠1日量の1/8~1/4を経口投与する。矯味剤として甘味のあるD-マンニトールと粉末還元麦芽糖水アメを配合している。1包は水10 mLで溶解可能。	2.5mg 53.8円/包 5 mg 111.2円/包 10 mg 220.7円/包

参考：日本緩和医療学会「がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2020年版」、日本緩和医療薬学会「緩和医療薬学 改訂第2版(2023)」、日本医師会「新版がん緩和ケアガイドブック(2017)」、各薬剤のIF、メーカーHP、メーカー資料等

※高田慎也ら：Palliative Care Research 3(2),101-107,2008

成分	商品名	規格・写真		放出機構	用法	投与間隔	特徴・使用時の注意点など	薬価	
フェンタニル	デュロテップMTパッチ ※当院では慢性疼痛のみ 処方可能	院外 2.1 mg 	院外 4.2 mg 	徐放性	3日毎	72時間	3日毎に貼り替える持続性経皮吸収型製剤。半透明フィルム状。当院では含有の異なる2規格を採用しており、単位面積あたりの放出速度はいずれも同一。癌性疼痛以外に、「中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛」にも適応を有する。慢性疼痛に処方するには、e-ラーニングの受講が必要。	2.1 mg 1,649.6円/枚 4.2 mg 2,868.4円/枚	
	ワンデュロパッチ ※当院では慢性疼痛のみ 処方可能	院外 0.84 mg 	院外 1.7 mg 	徐放性	1日毎	24時間		1日1回貼付型製剤。半透明フィルム状。当院では含有の異なる2規格を採用しており、単位面積あたりの放出速度はいずれも同一。癌性疼痛以外に、「中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛」にも適応を有する。慢性疼痛に処方するには、e-ラーニングの受講が必要。	0.84 mg 485.7円/枚 1.7 mg 926.4円/枚
フェンタニル クエン酸塩	フェントステープ ※当院では0.5mgを除いて 慢性疼痛のみ処方可能	0.5 mg 	1 mg 	院外 2 mg 	徐放性	1日毎	24時間	1日1回貼付型製剤。支持体が白色で、直接ボールペン・鉛筆等で記入可能。癌性疼痛以外に、「中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛」にも適応を有する。慢性疼痛に処方するには、e-ラーニングの受講が必要。	0.5 mg 278.5円/枚 1 mg 514.8円/枚 2 mg 957.2円/枚
	フェンタニルクエン酸塩 1日用テープ 「第一三共」	1 mg 	2 mg 	院外 6 mg 	徐放性	1日毎	24時間		フェントステープの後発医薬品。 1日1回貼付型製剤。支持体が白色で、直接油性ペン等で記入可能。 慢性疼痛に対する適応なし
	アブストラル舌下錠	100 μg 			即効性※	1日あたり 4回以下	ROO※ 2時間	舌下の口腔粘膜より吸収させる。定期的な強オピオイドの投与を受けている患者を対象とする。原則、モルヒネ経口換算60mg/日以上以上の投与を受けている患者を対象とし、それ未満の患者では慎重に適応を検討。定期投与量に関わらず100μgから開始し、1回800μg使用しても効果が不十分な場合は他の方法への変更を検討。 ※ ROO(Rapid onset opioid: 即効性オピオイド薬) 他の速放性製剤よりも効果発現が速い。通常のレスキュー薬と使用方法が異なるため注意が必要。	549.0円/錠
メサドン 塩酸塩	メサペイン錠	5 mg 	10 mg 	徐放性	1日3回	8時間	他の強オピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する。他のオピオイド鎮痛剤の交差耐性が不完全であるため、他のオピオイド鎮痛剤との等鎮痛比は確立していない。処方する医師は、e-ラーニングの事前受講等により「処方可能医師」として登録される必要がある。	5 mg 184.8円/錠 10 mg 351.2円/錠	
タベンタドール 塩酸塩	タベンタ錠	25 mg 	院外 100 mg 	徐放性	1日2回	12時間	不正使用防止を目的にポリエチレンオキシドが使用された錠剤 (TRF; Tamper-Resistant Formulation)で、ハンマーを使用しても壊れない構造になっている。	25 mg 110.7円/錠 100 mg 399.0円/錠	
コデイン リン酸塩	コデインリン酸塩錠/散 「タケダ」	錠 20 mg 	散 10% (100 mg/g) 白色~帯黄白色の粉末	速放性	回数 の記載なし	6~8時間 レスキュー1時間	WHO三段階除痛ラダーの第2段階 (弱オピオイド) 12歳未満の小児に禁忌 「疼痛時における鎮痛」以外に、各種呼吸器疾患における鎮咳・鎮静、激しい下痢症状の改善に適応を有する。	錠 20 mg 79.5円/錠 散 10% 149.8円/g	
ブプレノルフィン 塩酸塩	レベタン坐剤	0.2mg 		—	1日2~3回	8~12時間	非麻薬 (第2種向精神薬)、WHO三段階除痛ラダーにおいて、モルヒネと同じ段階に位置づけられている。適応は術後・各種癌の鎮痛。水溶性基剤。	133.9円/個	
トラマドール 塩酸塩	ワントラム錠	100 mg 		速放性+ 徐放性	1日1回	24時間	非麻薬、WHO三段階除痛ラダーの第2段階 (弱オピオイド) 12歳未満の小児に禁忌 1日1回経口投与でトラマドール塩酸塩カプセル (1日4回経口投与) と同等の血漿中濃度推移を示し、24時間血中濃度を維持する。	85.8円/錠	
	ツートラム錠	25 mg 	50 mg 	速放性+ 徐放性	1日2回	12時間	非麻薬、WHO三段階除痛ラダーの第2段階 (弱オピオイド) 12歳未満の小児に禁忌 1日2回の服薬で24時間にわたり安定した鎮痛効果が得られるよう製剤設計した速放部付トラマドール塩酸塩徐放錠である。	25 mg 33.3円/錠 50 mg 55.3円/錠 100 mg 97.5円/錠 150 mg 133.5円/錠	
	100 mg 	院外 150 mg 							
トラマドール塩酸塩OD錠 25mg「KO」	25 mg 		速放性	1日4回	4~6時間 レスキュー1時間	非麻薬、WHO三段階除痛ラダーの第2段階 (弱オピオイド) 12歳未満の小児に禁忌 口腔内崩壊錠。レスキュードーズとして使用する場合には、定時投与中の本剤の1日量の1/8~1/4を経口投与する。 ※トラマドール・アセトアミノフェン配合錠 (トアラセット/トラムセット) の適応症は「非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛：非がん性慢性疼痛、抜歯後の疼痛」のみ	11.4円/錠		